



クローズアップ
CLOSE UP

駅前の並木を光で演出

12月1日から、前橋けやき並木ライトアップがスタート。今回は、エイズデーや初市まつりなどに合わせて演出が変化します。初日の点灯式では聖歌やアコーディオンの音色と光が競演し、駅前にはロマンチックな雰囲気。ライトアップは1月31日(火)までです。



大規模災害想定し訓練

11月27日、前橋工科大で総合防災訓練を行いました。市内で震度6強を観測する地震の発生を想定。衝突した車から負傷者を救出し、医師などが応急処置を施しました。「それぞれ何をすべきかしっかり確認してほしい」。市長の号令のもと迅速に動きました。



前橋活性化の輪広がる

12月4日、つながる3分プロジェクトを開催しました。さまざまな分野で活動中の団体や企業が「前橋のためにやりたいこと」を3分間でプレゼンテーション。プレゼン終了後は共感や応援の気持ちを伝え合い、前橋を元気にしようという輪が広がりました。

いきいき
まえばし人

上原 渉さん・7歳
若い芽のポエムで美穂賞
元総社町



家族での楽しい思い出を詩に

第20回詩のまち前橋若い芽のポエムの小学生の部で、最高賞である美穂賞に選ばれた。3部門ある中で、上原さんが唯一市内からの選出だ。タイトルは「なみのり」。浮き輪につかまって波乗りで遊んでいて、高い波に飲まれたときの様子を詩にしたものだ。「幼稚園生のころに、パパとママに海に連れて行ってもらった時のことを書いたんだよ。波に飲まれた時は息が持たないかと思って怖かったけど、楽しかったな」詩の中では、茶色い波を「すなばみみたい」と表現したり、波が過ぎた後に見上げた空が「くらくみえた」と表現したりするなど、独特の感性が垣間見える。審査員からも、あたかも自分がその情景を体験したような気持ちにさせる表現力が評価された。結果を知った時はうれしかったという。「家に帰ってすぐにママに話したんだよ。ママは『よかったね』って」

現在、元総社北小の1年。好きな教科は図工。「いろいろな物が創れるのが楽しいから」と屈託なく笑う。詩と図工の共通点は何かを表現する楽しさだろう。大人になつたらやりたいことは分からないというが、持ち前の表現力で、将来、私たちを驚かせてくれるだろう。



親子で楽しむ絵本の世界

絵本の中の短い言葉には、深いメッセージが込められています。読み聞かせは、そんなメッセージを受け取る力を育むことのできる貴重な体験だと思えます。昭和5年に本館で始まった読み聞かせ。その後「萌えぎ



熱心に聞いてくれる
親子との出会い大切に



市読み聞かせグループ
連絡協議会長
田子 智代さん

前橋ブック
ストリート
MAEBASHI BOOK STREET

今年で開館100周年を迎えた前橋市立図書館の今をお伝えします。

Vol.05



読み聞かせはねころびコーナーで